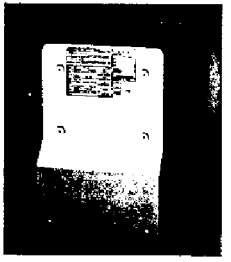
ガスふろ給湯器

パックイン

外壁貫通設置形
31-739型

型式名　WF-1610AT-1



取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ
正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店
にお問い合せください。

大阪ガス

1 本社・事業本部・支社所在地および電話番号表

大阪事業本部	〒550	大阪市西区千代崎3丁目南2-37	☎大　阪	06 (586) 1122
南部事業本部	〒590	堺市住吉橋町2-2-19	☎堺	0722 (38) 1131
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1-5	☎和歌山	0734 (31) 2481
北東部事業本部	〒578	東大阪市稲葉2-3-17	☎河　内	0729 (62) 1131
高槻事業所	〒569	高槻市藤の里町39-6	☎高　槻	0726 (71) 0361
奈良支社	〒631	奈良市学園北2-4-1	☎奈　良	0742 (44) 1111
兵庫事業本部	〒650	神戸市中央区東川崎町1-8-2	☎神　戸	078 (360) 3100
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4-8	☎姫　路	0792 (85) 2221
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6-57	☎豊　岡	0796 (23) 2221
京滋事業本部	〒600	京都市下京区中堂寺栗田町1	☎京　都	075 (311) 7381
滋賀支社	〒525	草津市西大路町5-34	☎草　津	0775 (62) 5311
滋賀東支社	〒522	彦根市大東町12-11	☎彦　根	0749 (22) 3131
長浜ガスセンター	〒526	長浜市南呉服町3-4	☎長　浜	0749 (62) 7171
本　社	〒541	大阪市中央区平野町4-1-2	☎大　阪	06 (202) 2221

大阪ガス株式会社

お　ね　が　い

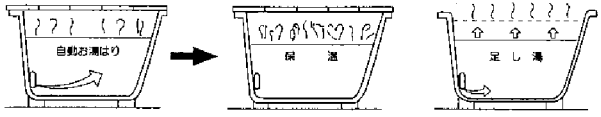
ガスくさいときはお部屋の元栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガス支社・サービスショップにご連絡ください。

734T0610XA

特長・機能の紹介

スイッチポンでおふろが沸かせます。

ふたをして「自動」スイッチを押せば、あらかじめ決めておいたお好みの湯温と湯量でお湯はりができます。



「自動」スイッチを押してから約4時間以内なら、お湯がさめれば自動で保温し、お湯が減れば自動で足し湯します。

お好みの給湯温度でお湯が使えます。

リモコンで設定した温度でお湯が出ます。

約37℃～60℃まで設定できます。

目　次

- ●特に注意していただきたいこと ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～4
- ●各部の名まえとはたらき ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5～7
- ●使用方法
  - ・初めてお使いいただくときは ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
  - ・お湯の出しかた（浴室リモコンでの操作）・・・・・・・・・・・ 9～10
  - ・お湯の出しかた（台所リモコンでの操作）・・・・・・・・・・・・ 11
  - ・自動運転（ふろの自動お湯はりをしたい）・・・・・・・・・・・ 12～14
  - ・おいだき運転（ふろのおいだき・沸かし直しをしたい）・・・・・・ 15
  - ・機器内部の凍結予防方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16～17
- ●点検・お手入れ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18～19
- ●故障かな？と思ったら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20～22
- ●寸法図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
- ●仕　様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- ●保証とアフターサービス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

特に注意していただきたいこと

■機器を安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書では、お客様や近隣の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために説明文及び製品の表示では、いろいろな絵表示をしています。表示と意味は次のようになっています。内容をよくご確認してから本文をお読みください。

注意表示	意　味
⚠ 危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

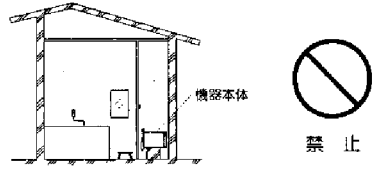
絵表示には次のような意味があります。

絵表示	意　味	絵表示	意　味	絵表示	意　味
⚠	一般的な注意事項	⃠	一般的な禁止事項	❗	必ず行なう事項
⚠	感電注意	⃠	分解禁止	⏚	アース接続確認
⚠	高温注意	⃠	火気厳禁		電源プラグを抜く
⚠	発火注意	⃠	接触禁止		

⚠ 危険

■機器の設置

●この機器は、屋外用（外壁貫通タイプ）ですので絶対に屋内に設置しないでください。不完全燃焼を起こし大変危険です。



⚠ 警告

■ガス漏れに気づいたとき

●すぐに使用をやめてガス元栓を閉めてお買い求めの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

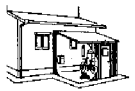
●お買い求めの販売店やガス会社の係員が処置するまでは絶対にマッチやライター等の使用や、電源プラグの抜き差しや、近くの電気機器（換気扇など）の「入」「切」をしないでください。
ガス爆発の恐れがあります。

■設置場所について

●機器の設置・移動及び付帯工事はお買い求めの販売店またはもよりのガス会社に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

●設置場所によっては、近隣の家と騒音によるトラブルが生じることがありますので十分配慮して設置してください。

●この機器は屋内設置タイプの屋外設置型ですので、増改築などによって、屋内状態にしないでください。
また、波板などによって、囲いをすることもおやめください。



■やけどに注意

●シャワーなどお湯を使用するときは、湯温を確認してから使用してください。
やけど予防のため。

●入浴の際には、湯温を確認してから入浴してください。
やけど予防のため。

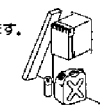
●おいだき時は、循環口から熱いお湯がでますので循環口の下の吐出口に手や体を近づけないようにしてください。

■火災予防

●排気口の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。

●機器の周辺ではガソリン、ベンジンなど引火の恐れのあるものを使用しないでください。
火災の原因になる恐れがあります。

●機器の周辺にスプレー缶を置かないでください。
熱でスプレー缶の圧力が上がり破裂する恐れがあります。



■子供に対する注意

●浴そうの循環口の付近で水に遊んだりしないでください。
思わぬ事故の原因になります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

⚠ 警告

■異常時の処置

●ご使用中に普段と違った状態になったときや、地震、火災の場合、すぐに使用をやめて電源プラグを抜き、ガス元栓を閉めてください。20～22ページの「故障かな？と思ったら」の項にしたがって処置をしてください。

■使用電源の確認

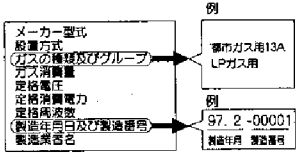
●AC100V（50／60Hz）以外の電源では使用しないでください。

■使用ガスの種類の確認

●ガスの種類を確かめてください。
機器本体（銘板）に表示してあるガスの種類以外では使用しないでください。
故障や燃焼不良、過熱の原因となります。

●ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、さらにガスグループの区分があります。

●転居されたときも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。



⚠ 注意

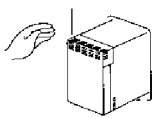
■混合水栓使用時のご注意

●高温で使用中は水栓本体が熱くなりますので注意してください。
やけどの恐れがあります。

●高温で使用した後、またすぐに出湯する場合には熱い湯が出る恐れがありますので安全のため水を混ぜて残り湯を流してください。

■やけどにご注意

●使用中および使用直後は、機器の排気口や本体は高温になっていますので絶対に手を触れないでください。特に、小さなお子様がいる家庭では、注意してください。



■用途について

●この機器は、給湯・シャワー・おいだき以外の用途には使用しないでください。
思わぬ故障の原因になります。

■運転停止（消火）時のご注意

●燃焼中に電源プラグを抜いて消火しないでください。
機器の故障の恐れがあります。

■入浴時のご注意

●おいだき中やおいだき後は、浴そうのお湯の温度が上部と下部で差があることがありますので入浴時は注意してください。

お願い

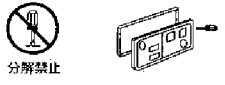
■ガス事故防止
●機器使用時の点火、使用後の消火を確認してください。
●おやすみやお出かけ前に、機器の消火を確認してください。

■業務用としての使用禁止
●この機器は一般家庭用です。業務用には使用しないでください。いちじるしく製品の寿命が縮まります。

■入浴時のご注意
●浴そう内の循環口をタオルなどで塞ぐと、循環不良となり、ふろの沸かし上げができません。また、タオルの糸くずが機器に吸い込まれて、故障の原因になることがあります。

■リモコンの掃除
●浴室リモコンは、防水タイプになっていますが、入浴中や、清掃などで故意に水をかけるとリモコン操作ができなくなることがあります。清掃については18ページの「点検・お手入れ」にしたがっておこなってください。

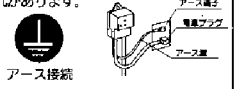
■リモコンの分解禁止
●リモコンは分解しないでください。



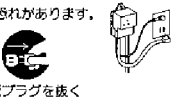
■入浴剤や洗剤の使用について
●硫黄、酸、アルカリや粉末を含んだ入浴剤及び洗剤は、熱交換器が腐食したり駆動部を摩耗させる原因となるものがありますので、入浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

■飲用についてのご注意
●しばらく使わなかったとき、はじめにでてくる水は飲んだり調理に用いないでください。

■電気事故防止
●電源プラグ（漏電ブレーカー付）は、必ず浴室外に設けたアース端子付のコンセントに確実に差し込んでください。
プラグにほこりなどが付着していたり、差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります。
●アース線をアース端子に取付けてください。
感電する恐れがあります。



■雷が発生しているとき
●雷が発生しているときは、使用を中止して電源プラグ（漏電ブレーカー付）をコンセントから抜いてください。
機器の故障の恐れがあります。



■積雪時の注意
●積雪で排気口が塞がれているようなときは、不完全燃焼の原因になりますので使用を控えてください。

■長期間使用しない場合
●長期間使用しない場合は、凍結および万一のガス漏れを防止するため、25ページの「長期間使用しない場合」にしたがって処置をしてください。

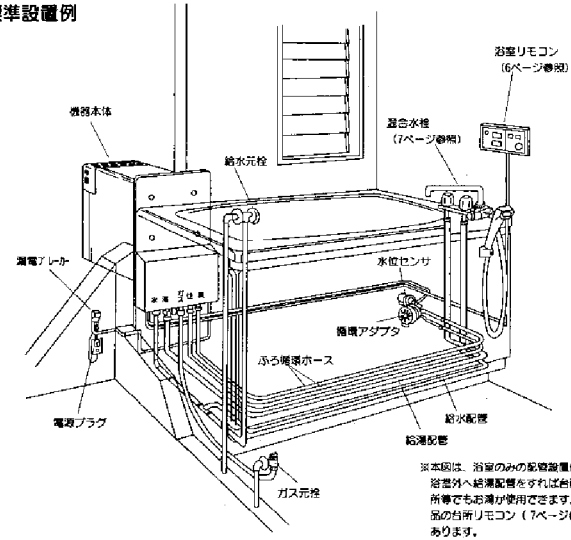
■停電のとき
●この機器は、電気で作動しますので停電中は使用できません。
●停電中は全ての動作を停止します。この場合は蛇口からのお湯は水になりますので、停電復帰まで給湯栓を閉めてください。
●停電復帰後も自動的に運転されませんので、9～15ページの「使用方法」にしたがって操作してください。

■機器内部の凍結予防について
●機器内部の凍結予防は、16～17ページの「機器内部の凍結予防方法」にしたがって予防処置をしてください。凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

■市販の補助用具使用について
●この機器の付属品・純正部品以外は使わないでください。
機器の異常の原因になることがあります。

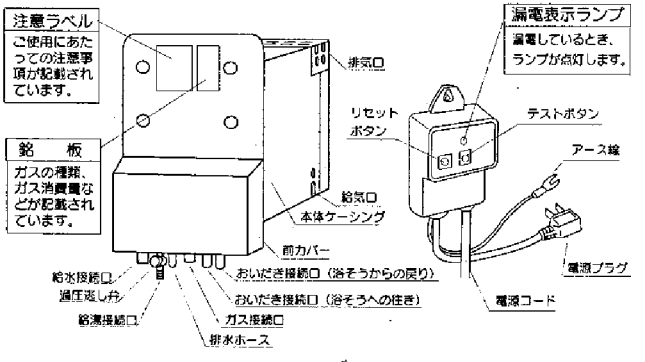
各部の名まえとはたらき

■標準設置例



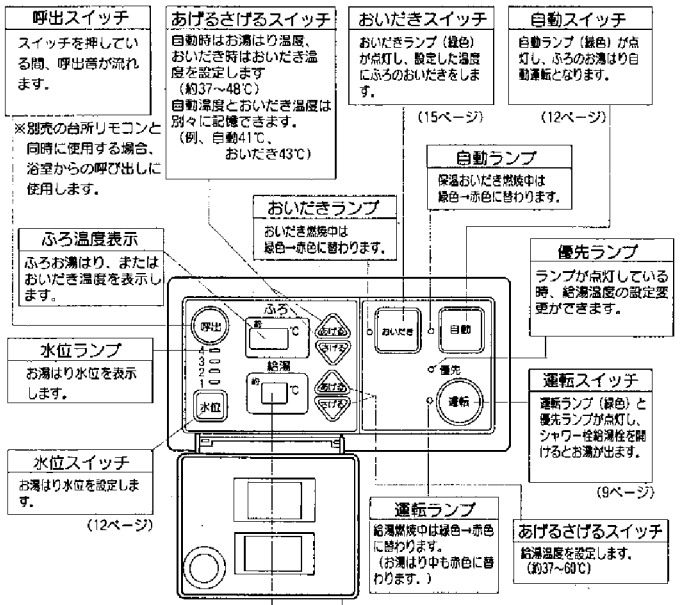
※本図は、浴室のみの配管設置例です。浴室外へ給湯配管をすれば台所や洗面所等でもお湯が使用できます。別売部品の台所リモコン（7ページ参照）もあります。

■本体



■漏電ブレーカー

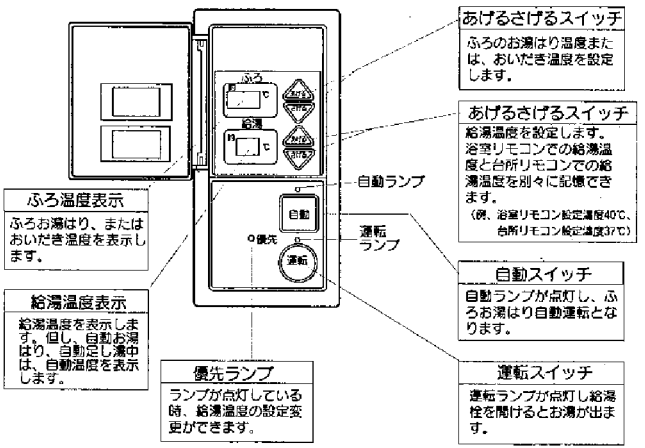
■浴室リモコン



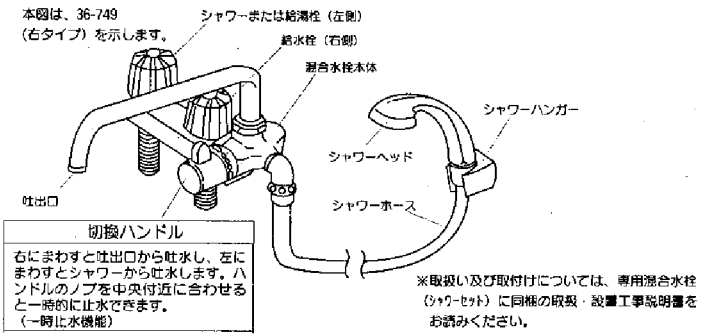
⚠ スイッチ操作はしっかりと

●スイッチを押すと、操作音（ピッ）がしてランプの表示が切り替わりますが、手速いスイッチ操作をすると、スイッチが受けつけられないことがあります。しっかりと、スイッチを押して、ランプの表示が切り替わることを確認してください。

■台所リモコン（別売部品　36-186 ）



■専用混合水栓（別売部品 ｼｬﾜｰｾｯﾄ 36-748, 36-749 ）



※取扱い及び取付けについては、専用混合水栓（ｼｬﾜｰｾｯﾄ）に同梱の取扱・設置工事説明書をお読みください。

⚠ 一時止水のままにしない

●一時止水機能を持つ混合水栓使用時で給湯・シャワーを使い終わった後は、切換ハンドル（一時止水）だけで湯水を止めておかないで給湯・給水両栓でしっかり止めておいてください。一時止水がきかなくなる恐れがあります。

使用方法　初めてお使いいただくときは

使用前の確認

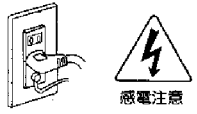
初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1．給水元栓をいっぱいに開けます。

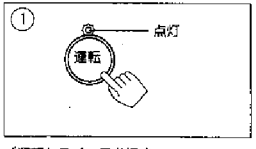
2．給湯栓、シャワー栓を開けて水が出ることを確認してください。

3．ガス栓を全開にします。

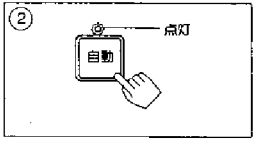
4．電源プラグ（漏電ブレーカー付）を根元まで
確実にコンセントに差し込みます。
アース線をアース端子に取付けてください。



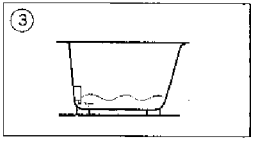
5．ポンプの呼び水をします。
（浴室リモコンで操作）



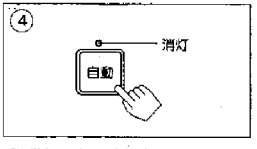
「運転」スイッチを押す。
「運転ランプ」が点灯します。



「自動」スイッチを押す。
「自動ランプ」が点灯します。



浴そうの循環口からお湯が
出てくることを確認します。



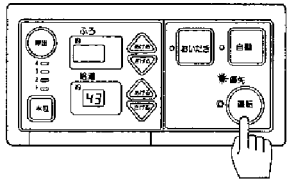
「自動」スイッチを押す。
「自動ランプ」が消灯します。

⚠ 111 が点滅したら

●はじめてご使用になるときなどは、ガス配管中に空気が入っていて点火しないことがあります。
この場合、浴室リモコンおよび台所リモコンの「運転ランプ」が点滅し、さらにふろ温度表示部がエラーコード 111 で点滅し給湯不着火をお知らせします。
以上のような場合は、いったん給湯栓又はシャワー栓を閉じ、「運転」スイッチを押しエラーを解除し、再度「運転」スイッチを押し、給湯栓を開ける操作を2～3回繰り返してください。

使用方法　お湯の出しかた（浴室リモコンでの操作）

お湯を使いたい



1　「運転」スイッチを押します。
- 「運転ランプ」が「緑色」に点灯します。
- 「優先ランプ」が同時に「赤色」に点灯します。
- 給湯温度が表示されます。

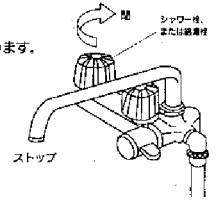
2　スイッチでお好みの給湯温度に
設定します。
（一度設定すると記憶します）
- 給湯温度の表示は目安ですが、37～50℃、60℃の15段階に設定できます。
- スイッチは1回押すたびに、1段階ずつ調節できますが、スイッチを押しつづけると45℃までは速く動きます。

3　シャワー栓または給湯栓を開けます。
- 燃焼を開始し、「運転ランプ」が「緑色」から「赤色」に替わります。
- しばらくしてお湯が出ます。（お湯が出るまでの時間は、配管長さによって変わります。）

※別売部品の台所リモコンを同時使用の場合は、台所リモコン側の「運転ランプ」も「赤色」に変わります。

（シャワー・給湯停止）

1　シャワー栓または給湯栓を閉めます。
- 燃焼が止まり、「運転ランプ」が「赤色」から「緑色」に替わります。
- 「優先ランプ」は「赤色」のまま点灯しています。
（再度、シャワー栓または給湯栓を開けるとお湯が出ます。）



2　もう一度「運転」スイッチを押します。
- 浴室リモコンの「運転ランプ」及び「優先ランプ」が消えます。
- 別売部品の台所リモコンと合わせて使用している場合、
台所リモコンの「運転」スイッチを押しても運転停止できます。

⚠ 運転を再開する場合

●運転停止後再び「運転」スイッチを押してシャワー及び給湯を使用する場合、停止前の設定温度が37℃～50℃のときはそのまま同じ温度が表示されますが、停止前の設定温度が60℃であったときは安全のため42℃に戻ります。

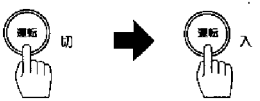
使用方法

「優先ランプ」が赤色点灯しているリモコンでお湯の温度調節ができます。

■使いたいリモコンを「優先」にする場合は次の操作をして下さい。
（「運転」スイッチを入れたほうのリモコンが「優先」となります。）

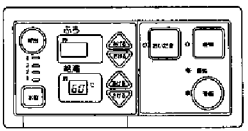
●浴室リモコンを「優先」にしたい・・・
・運転スイッチを押す

●台所リモコンを「優先」にしたい・・・
・運転スイッチをいったん切り、再度入れる。

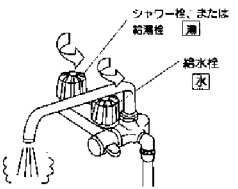


シャワーの湯量が少ないとき（低給水圧）

●給水圧力が低く、給湯栓を全開にしても十分な湯量が得られない場合は、専用の混合水栓で湯と水をミキシングして使用することをお推めします。この場合、AUTO スイッチで湯温を60℃に設定して使われることをお推めします。



●湯と水をミキシングして使用する場合、湯温調節がしづらい場合があります。この場合、給湯栓は全開で固定し、水の量で湯温を調節すると比較的易しく操作できます。



⚠ 注意

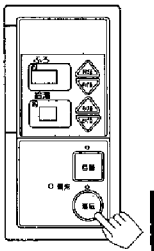
■やけどに注意
●湯温を確認してから使用してください。
■混合水栓使用時のご注意
●高温で使用中は水栓本体が熱くなりますので注意してください。
●高温で使用した後、またすぐに出湯する場合には熱い湯がでる恐れがありますので安全のため水を混ぜて残り湯を流してください。

使用方法　お湯の出しかた（台所リモコンでの操作）

お湯を使いたい

1　「運転」スイッチを押します。
●「運転ランプ」が「緑色」に点灯します。
●「優先ランプ」が同時に「赤色」に点灯します。

2　AUTO スイッチでお好みの給湯温度に設定します。
（一度設定すると記憶します。）
●台所リモコンの AUTO スイッチを押せば、温度設定ができます。



別売部品の台所リモコン
(36-186)

3　台所、または洗面所の給湯栓を開けます。
●「運転ランプ」が「緑色」から「赤色」になります。
●しばらくしてお湯が出ます。

4　使用後、給湯栓を閉めます。
●お湯が止まると「運転ランプ」が「赤色」から「緑色」に替わります。

⚠ 優先になっていますか

●優先ランプが消灯している場合は台所リモコンでの給湯温度変更はできません（浴室リモコン優先）。この場合、浴室で使用している温度のお湯が出ます。台所リモコンを優先にするには、一旦、運転スイッチを押し、運転を切ったあと、再度運転スイッチを押してください。

使用方法　自動運転…ふろの自動お湯はりをしたい

運転前の準備

⚠ 排水栓はしっかりと

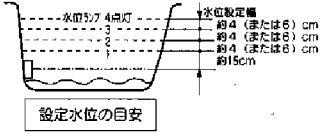
●浴そうの排水栓を閉め忘れて自動お湯はりした場合、お湯はり開始後約１時間経過すると自動的にお湯はりを停止します。

自動運転の使用方法

1．「運転」スイッチを押します。
　●「運転ランプ」が「緑色」に点灯します。

2．「自動」スイッチを押します。
　●「自動ランプ」が「緑色」に点灯し、「運転ランプ」が「緑色」から「赤色」に替わり自動的にお湯はりが開始されます。

3．「水位」スイッチでお湯はり水位を設定します。
　●希望の水位を1～4の 4段階まで選べます。
　一度設定すれば記憶します。
　（電源投入時または停電復帰後は、水位２となっています）
　●水位の目安は、ふろ循環口の中心から上方約15ｃｍから約 4cm（または 6cm）きざみの 4段階となっています。



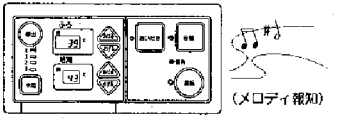
※水位設定の幅は、機器設置時に、ご使用になる浴そうサイズ（深さ）に合わせて、予め約 4cmまたは約 6cmきざみに設定されています。浴そうを交換される場合や、水位設定 4(最も高い)の水位でのお湯はりで、浴そうからお湯があふれたり、十分なお湯はり水位が得られない場合は水位設定幅の再設定が必要になることがあります。最寄りの販売店もしくはガス会社にご相談ください。

4．スイッチでお好みの入浴温度に設定します。

●ふろ温度表示と同時に、給湯の温度表示も替わります。
（電源投入時または停電復帰後は、42℃設定となっています。）
●お湯はり温度は、目安ですが、約 37から48℃の範囲で１℃ずつ設定できます。
●しばらくして、浴そうのふろ循環口からお湯が出てきます。同時に、浴室リモコンの「運転ランプ」が「赤色」に替わります。
●おふろの設定水位までお湯はりすると自動的にふろ循環口から出ていたお湯が止まります。この時、給湯温度はお湯はり温度から、元の給湯設定温度にもどります。（表示ももどります。）
●浴そうに残り湯がある場合も「自動」スイッチを押すだけで、設定水位までお湯はりができます。
　但し、残り湯が設定水位より高い場合、お湯はりはせずに沸き上げます。
●お湯はりが終了すると、沸き上げ運転に入り、「自動ランプ」が「赤色」に替わります。

5．沸き上がると自動でストップ（メロディでお知らせ）

●設定した水位までのお湯はりと沸き上げが終了しますと、「自動ランプ」が「緑色」に替わり、リモコンから約 25秒間メロディが流れてお知らせします。
●別売の台所リモコンを同時にお使いの場合は、台所リモコンからもメロディでお知らせします。

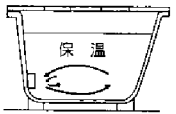


●以降、約４時間の自動保温、自動足し湯状態となります。

お湯の温度が下がったら、自動であたためます。（保温）

●保温中は約20分毎にポンプがまわり、湯温を検知して温度が下がっていると自動的に設定した温度までおいだきします。このとき、「自動ランプ」は「緑色」から「赤色」に替わります。

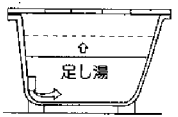
●保温中にふろ自動の設定温度を替えると、その温度に沸き上げることができます。ただし、浴そうの湯温より低目に設定を替えても、浴そうの湯温はそのままです。この場合、一時的にポンプがまわり、燃焼することがありますが異常ではありません。



●保温機能は、「自動」スイッチを押してから約 4 時間作動します。

お湯が減れば自動で足し湯します。（足し湯）

●お湯の量が減ると（自動お湯はりが終了したときの水位から、約 3cm下がると）自動的に設定水位まで設定温度のお湯を足し湯します。このとき「運転ランプ」は「緑色」から「赤色」に替わります。給湯温度は、お湯はり温度が表示されますが、足し湯終了時は元の温度にもどります。



●自動足し湯機能は「自動」スイッチを押してから約 4時間作動します。

自動運転停止

自動運転を途中で止めたいときは、再度「自動」スイッチを押します。

- 「自動ランプ」が消えます。
- 「水位ランプ」とふろ温度表示が消えます。
- 「運転ランプ」が「緑色」になります。
- 給湯温度表示が給湯使用時の温度にもどります。

⚠ 自動お湯はり中の給湯使用について

・自動お湯はり中、給湯栓を開ければお湯を使用することはできますが、給湯の温度はふろの温度と同じ温度になります。また冬季など入水温度が低い場合は表示の温度より低いことがあります。

・配管によっては、給湯栓からのお湯が出にくいことがあります。

使用方法　おいだき運転・・・ふろのおいだき・沸かし直しをしたい

運転前の準備

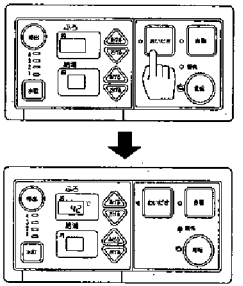
●おいだき運転をする前に循環口キャップが十分つかる程度のお湯（または水）がはってあるか確認してください。お湯（または水）が少ないとおいだき運転はできません。

使用方法

1．「運転」スイッチを押してから「おいだき」スイッチを押します。

●「おいだきランプ」が「緑色」に点灯し、浴そう内のお湯（または水）が循環しはじめます。同時に「ふろおいだき温度表示」が点灯します。

●しばらくして「おいだきランプ」が「緑色」から「赤色」に替わり、ふろのおいだきを始めます。



2．▲▼スイッチでお好みのふろのおいだき温度を設定します。（一度設定すると、記憶します。）

●ふろのおいだき温度は、目安ですが37から48℃の範囲で1℃ずつ設定できます。また、自動運転による沸き上げ温度と違う温度に記憶できます。

●お買い上げいただいた時又は停電のあとは、42℃設定となっています。お好みの温度が42℃と異なる場合は▲▼スイッチで調整します。

※途中でおいだきを止めたいときは、再度「おいだき」スイッチを押します。

3．沸き上がりますと、自動でストップ

●「おいだきランプ」、「ふろのおいだき温度表示」が消灯し、約 30秒後にお湯の循環が止まります。

《な・る・ほ・ど》

おふろ沸かしは、浴そうに水を張ってから沸かすと時間がかかります。浴そうが空の状態からおふろ沸かしをする場合は、「自動運転」をおすすめします。

使用方法

機器内部の凍結予防方法

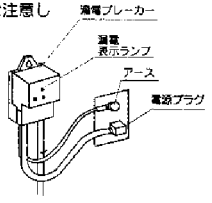
凍結予防

冬期は寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結がおこることがあります。
冷え込みが激しいときは、次のいずれかの方法で予防処置をとってください。

1．通常の寒さのときの凍結予防ヒータによる予防方法

●電源プラグをコンセントに入れた状態にします。

※電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。抜けていると作動しませんのでご注意してください。



※漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していないことを確認してください。点灯している場合は凍結予防ヒーターが作動しません。漏電している可能性もありますのでリセットボタンを押して確認してください。（19ページ参照）

●この機器は気温が下がってくると自動的に機器内を保温し凍結を予防するヒーターが組込まれています。通常は、電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば機器内の凍結は予防できます。

※ヒーターで凍結を予防できる気温の条件は、無風時－15℃まで、有風（4m／秒）時－10 ℃までです。気温がこれ以下になる時は、通水による方法や水抜き処置によって、凍結予防をしてください。

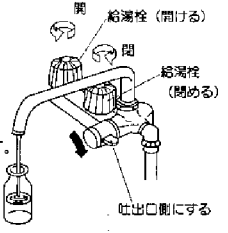
●凍結予防ヒーターは、リモコンのスイッチ操作に関係なく働きます。

2．冷え込みの厳しいときや停電のときの予防方法

■おいだき側（ポンプの水抜き方法）

●浴そうの水をぬきます。
●リモコンの「おいだき」スイッチを押し、252 エラーコードが表示されるまでまちます。
●このときポンプの音が大きくなりますが、ふろ循環ホース内の水を排水していますので異常ではありません。
●252 エラーコードは、「運転」スイッチを押すと解除できます。

■給湯側（通水による方法）



（1）リモコン「運転」スイッチを「切」にします。
　●「運転ランプ」が消灯します。
（2）ガス栓を閉めます。
（3）おふろ場の給湯栓を開けて、1分間に400cc（牛乳びん2本分）ぐらいの水を浴そうに流し込みます。
●流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。

⚠施工上の注意

●この機器は外気温が－15℃以下になる場合には凍結防止のために水抜き処置が必要です。（25ページ参照）
●ヒーターは、機器内の保温はしますが、配管やバルブ類の凍結予防はできません。配管には保温材を巻いて凍結予防をしてください。

⚠凍結したときは

●凍結により、給湯栓・シャワー栓・ふろ循環口から水が出ないときは、使用しないでください。
●凍結したままで使用しますと、機器に異常が生じ危険です。
●再度使用する場合は、ガス元栓、給湯・シャワー栓を閉め、解凍するのを待ちます。解凍して、通水したあと、本体や配管から水漏れがないことを確かめてからご使用ください。
●凍結により、機器が破損した場合、高額の修理費用がかかります。
●万一、機器や配管から水漏れするなどの異常がある場合は、ガス元栓、給水元栓を閉め、また、浴そうの排水栓を抜いてからお買い求めの販売店もしくは、もよりのガス会社までご連絡ください。

点検・お手入れ

機器を安全に、快適にお使いいただくために・・・

高温注意

●お手入れの前には、ガス栓・給水元栓を閉め、機器が冷えてから行なってください。
機器使用中および使用終了直後は、排気口や本体が高温になっていますので、やけどする恐れがあります。

分解禁止

●機器やリモコンは、絶対に分解しないでください。
故障の原因になります。

点検のポイント

●機器の上やまわりに燃えやすいものがありませんか。
●給気口・排気口が布などでふさがっていませんか。
●機器や配管から水漏れしているような様子はありませんか。
●ガスのにおいはしませんか。
●運転中に機器から異常音が聞こえませんか。
●機器の外観に異常は見られませんか。
●漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。

⚠お手入れ時の注意

●機器外観やリモコンの表面の汚れがひどくておそうじされるときは、布またはスポンジに台所用洗剤（中性洗剤）をつけてふきとったあと、からぶきします。

●ミガキ粉やタワシなど固いものでこすらないでください。
傷がついて、塗装がはがれたり腐食の原因になります。

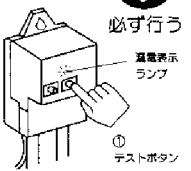
●シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。
前カバー、リモコン等は変色、変形、塗装のはがれの恐れがあります。
●リモコンケースには故意に湯水や洗剤をかけないでください。
リモコンの故障の原因になります。
●循環口のお手入れには、塩素系洗剤は使用しないでください。
変色、変形の恐れがあります。
●浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。
湯あかが残っていると、銅イオンと化合して青く変色することがあります。

■漏電ブレーカーの点検

●漏電ブレーカーが正しく作動することを確かめるため、次の操作を行なってください。

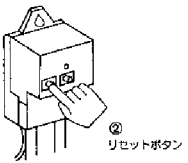
必ず行う

① テストボタンを押します。 →漏電表示ランプが点灯します。
② リセットボタンを押します。→漏電表示ランプが消灯します。



●月に1回以上の作動確認を行なってください。

※正しく作動しないときは、機器の使用を止め、電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス事業本部へご連絡ください。
※点検の前に漏電表示ランプが点灯しているときは、リセットボタンを押してください。
再び漏電表示ランプが点灯するようでしたら電源プラグを抜き、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス事業本部へご連絡ください。
※作動確認後は設定していた温度と水位が初期値になります。

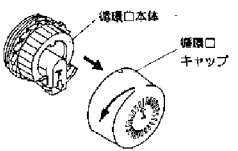


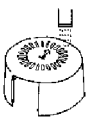
■循環アダプタのお手入れ

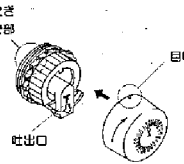
●循環アダプタの汚れや詰まりのお掃除は、循環口キャップを取外して水で洗います。
●月に1回以上、掃除してください。循環口が詰ったまま使用しますと故障の原因になります。

必ず行う

① 循環口キャップを左へ少し回してから引き外します。
② 循環口キャップを水洗いします
③ 循環口キャップを上マークが上になるように差し込み、右へ少し回して取付けます。







吐出口は、図に示すように必ず下向きにしてください

※循環口キャップの取り付けは、上マークが上になるようにし、キャップの目印の裏にあるツメが循環口本体のほぼ真上にあたる切欠き部のみぞに合うように差し込み、右へ少し回して止めます。

故障かな？と思ったら…

次のことをお調べください

現　象	お調べいただきたいこと
リモコンのスイッチを押しても表示ランプが点灯しない	●電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 ●漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。（19ページ） ●停電していませんか。
給湯栓を開けてもお湯が出ない	●ガス元栓が全開になっていますか。 ●給水元栓が全開になっていますか。 ●断水ではありませんか。 ●リモコンの「運転」スイッチを押しましたか。 ●凍結していませんか。（16ページ）
あついお湯が出ない	●リモコンの給湯温度設定が低くなっていませんか。 ●ガス元栓が全開になっていますか。 ●給湯またはシャワーを2ヶ所で同時使用されていませんか。
ぬるいお湯が出ない	●リモコンの給湯温度設定が高くなっていませんか。 ●水量を絞りすぎていませんか。（蛇） ●給水元栓が全開になっていますか。
おいだきができない	●浴そうの水（湯）がふろ循環口より上にありますか。 ●呼び水をしましたか。（8ページ）
おいだきがすぐ消火してしまう	●ふろおいだき温度設定が低くなっていませんか。 ●循環口キャップがはずれていませんか。（19ページ） ●循環口キャップの向きは、正しいですか。（19ページ）
浴そうの上下の温度差が大きい	●循環口キャップの向きは正しいですか。（19ページ） ●循環口キャップが目詰りしていませんか。（19ページ）

エラーコードの表示をお調べください

表　示	故障と思われる範囲または原因	処　置
111 121 112 122	給湯不着火 給湯使用時、途中消火（失火） ふろ不着火 ふろ使用時、途中消火（失火）	ガス元栓の全開を確認し、エラーコードの点滅を解除します。再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは修理依頼してください。
140 140	残火安全装置作動 過熱防止装置作動	安全装置の作動または故障が考えられます。エラーコードの点滅を解除し、再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
252	ふろ循環系統の故障または異常	浴そうの循環口キャップが充分につかるまで水（湯）がはってあることを確認してください。エラーコードの点滅を解除し、再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
101	ファンほこりづまり警告	お湯を使用することはできますが、十分な給湯能力が出ない状態ですので、すぐにお買い求めの販売店に連絡してください。
991	ファンほこりづまり異常	給湯、自動が使用できない状態ですので、すぐにお買い求めの販売店に連絡してください。

⚠ リモコン表示ランプが点滅しているときは

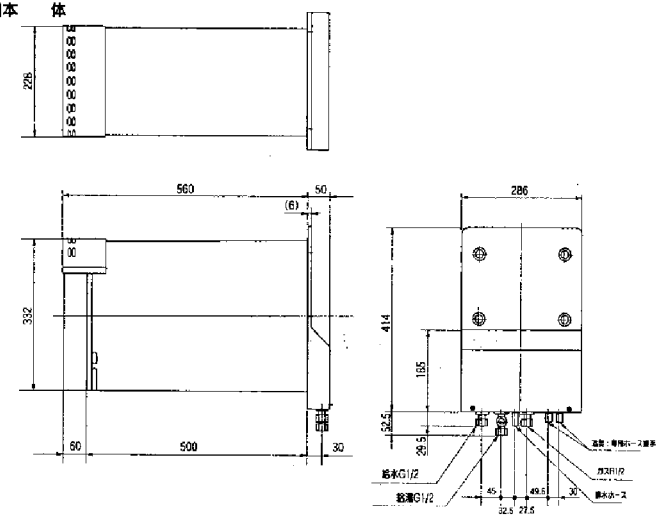
●この機器は機器の故障または異常を検知すると、リモコンのふろおいだき温度表示部にエラーコードを点滅表示します。（上表で確認してください。）
●エラーコードの点滅解除は、「運転」スイッチを押します。
●機器を再運転しても表中のエラーコードが何度も表示される場合や、表中以外のエラーコード（511、512、311、331、322、432、721、722、611、310、700、710等）が表示される場合は、ご自分で修理なさらないで、お求めの販売店か、もよりの大阪ガス事業本部へご連絡ください。
●使用途中でリモコンのランプが点灯しなくなった場合、マイコンの安全装置または漏電ブレーカーの作動が考えられますので、19ページの要領で漏電ブレーカーの作動確認をしてください。

次のような場合は故障ではありません

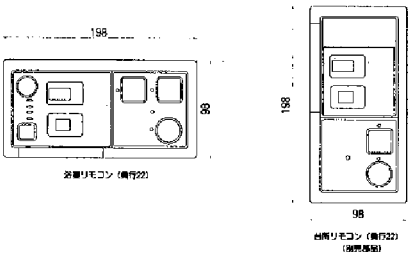
こんな場合	理由
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない。	機器から給湯栓までは距離がありますのでお湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
お湯の出を止めてもしばらく音がする。	消火後７分間は燃焼ファンを回転させて、燃焼ガスを排出します。
おいだきが終了してもしばらく音がする。	消火後30秒間はポンプを回転させておふろのお湯を撹拌しています。
寒い日に排気口から白い湯気がでる。	寒さで排気の中の水蒸気が白く見える現象で異常ではありません。
高温出湯にすると、お湯が白くなる。	水には空気が含まれていて加熱されると気泡となって現われるためのものです。異常ではありません。
ふろ自動お湯はりまたは、おいだきを始めると循環口からボコボコ音がして泡が出る。	おいだき配管の中にたまっていた空気が押し出されるためのもので、しばらくすると出なくなります。
排水ホースから少量のお湯が出る。	この機器は、逆止弁構造（浴そう内のお湯が給水側へ逆流しない構造）をもった大気開放弁が内蔵されています。 ●使い始めと使い終りに少量のお湯が出ますが異常ではありません。 ●給水圧が低い場所で同時使用した場合、浴そうへのお湯はり量が少なくなり、少しだけ機外へも、お湯を排水しますが異常ではありません。 ●大気開放弁内に空気が残留している場合、配管内の圧力が急激に上昇すると大気開放弁から少しだけ機外へ水を排水しますが異常ではありません。数回自動運転を行ない大気開放弁にお湯を通して空気を抜きますと排水はなくなります。
給湯栓を絞りすぎて水になった。	給湯栓、シャワー栓を絞りすぎる（約 2.5ℓ/分以下）と消火します。
ぬるいお湯がでない。	夏期水温が30℃近くなりますと、低温にセットしても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には、給湯栓をさらに開けて湯量を多く出すか、専用混合水栓の給水栓を開けて湯と水を混ぜて使用してください。

寸法図

■本　体



■リモコン



仕　様

■ 仕 様 表

項目		仕様	
外形寸法（本体）		幅286×高さ467×奥行610mm	
壁貫通部寸法		幅228×高さ332×奥行560mm	
重量（本体）		27kg	
接続寸法	ガス	R1/2（TU接続）	
	給水・給湯	G1/2	
	ふろ循環	13mm循環ホース継手	
標準ガス消費量 kW	ガス種	13A（kcal/h）	LP（kg/h）
	給湯 最大	34.9（30,000）	34.9（2.50）
	湯張 小	5.8（5,000）	5.8（0.42）
	ふろ	9.9（8,500）	9.9（0.71）
	同時（最大）	34.9（30,000）	43.0（3.08）
電気定格	電源	AC100V（50 / 60Hz）	
	消費電力	使用最大 140 / 150 W	
	凍結予防用ヒータ	64 W	
最低作動水圧		19.6 kPa（0.2kgf/cm²）	
使用水圧		53.9（動水圧）～784kPa（0.55～8kgf/cm²）	
制御システム	給湯	フィードフォワード＋フィードバック式ガス比例制御	
	ふろ	温度設定沸上げ（37～48℃）、（給湯比例制御追従式）	
	ファン制御	DCファンによる回転数制御	
排気温度		260℃以下	
安全装置		・立消え安全装置　・過熱防止装置　・ファン回転検知 ・沸騰防止装置　・漏電ブレーカー　・過圧逃し弁 ・残火安全装置　・凍結予防用ヒータ	

■ 出湯能力　　＊印は操業相当出湯能力を示す。

ガス種	標準号数（号）		温度上昇と標準出湯量（ℓ／分）				
			水温＋15℃	水温＋25℃	水温＋30℃	水温＋40℃	水温＋50℃
LP、13A	能力大	16	＊26.7	＊16.0	13.3	10.0	8.0
	能力小	2.5	4.1	2.5	—	—	—

保管とアフターサービス

長期間使用しない場合

1．ガスの元栓を閉じる。
2．給水元栓を閉じる。
3．機器の水抜きを行う。

※水抜きの手順
① 給水及び給湯、配管途中の接続部を外す。
② 配管内の水が抜けたら、元通りにする。
③ 浴そうの水を排水する。
④ リモコンの「おいだき」スイッチを押し、252 のエラーコードが表示されるまで運転してください。（このときポンプの音が大きくなりますが、ふろ循環ホース内の水を排水していますので異常ではありません。）252 のエラーコードが表示されましたら、「運転」スイッチを押してください。

4．電源プラグをコンセントから抜く。

●アフターサービスのお申し込み

サービス（点検・修理）を依頼される前に
「故障かな？と思ったら」（20～22ページ）の項を見て、もう一度ご確認ください。
それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。
・ご連絡の際には次のことをお知らせください。
1．品名・・・・・・バックイン
2．大阪ガス商品コード・・・・・器具の前面右上部に貼付してあります。

例
(N) 31−739
大阪ガス株式会社 03

3．故障・異常の現象・・・・・できるだけ詳しく
4．お客様名、住所、電話番号、道順

●転居される場合

・ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス事業本部にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。
ただし、ガスの種類や電源の周波数によっては調整できない場合もあります。

●保証・補修について

・保証期間中は・・・
保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
・保証期間経過後の故障修理について
お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス事業本部にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理いたします。
この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後10年間です。